

## 国語科からの連絡～教科書の解答～

### 80 ページ解答

① 1. 白桃（はくとう） 2. 水泡（すいほう） 3. 必勝（ひっしょう） 4. 兼備（けんび）

漢字のままの意味だからわかりやすいですね。「ケンビ」だけ聞くとわからないかもしれませんが「兼備」という漢字を見れば「兼ね備える」という意味が一目瞭然！こうして“文字を縮める”といのは日本人にとって大事なスキルです。

② 1. べんり／ほうべん／びんせん／ゆうびん  
2. まんいち／おくまん／ばんぶつ／ばんぜん  
3. はつめい／しゅっぱつ／ほっそく／ほったん  
4. きょうりょく／さいきょう／ごういん／ごうよく  
5. かくりつ／ひりつ／そちよく／いんそつ

③ 1. すず 2. みぞ 3. きば 4. まぼろし

④ 1. つど（い）／あつ（まった） 2. か（ち）／まさ（る）  
3. わ（った）／さ（いて） 4. ぬぐ（い）／ふ（き）

Kawasaki  
Yuuji



### ちよこっと知識 ～重箱読みと湯桶読み～

重（ジュウ：音読み）箱（ばこ＝はこ：訓読み）読み ⇒音＋訓

湯（ゆ：訓読み）桶（トウ：音読み）読み ⇒訓＋音 ※桶は訓読みすると“おけ”

### 122 ページ解答

① 経緯（けいゐ・いとへん）／疫病（えきびょう・やまいだれ）／港湾（こうわん・さんずい）  
／雌雄（しゆう・ふるとり）／寛容（かんよう・うかんむり）／逃避（とうひ・しんにょう）

② 狽（りょう・けものへん）もとになる漢字「犬」・・・獣（けもの・いぬ）  
襟（えり・ころもへん）もとになる漢字「衣」・・・装（よそおーう・ころも）  
打（てへん）もとになる漢字「手」・・・拳（こぶし・て）  
剛（ごう・りっとう）もとになる漢字「刀」・・・切（かたな）

③ 1. 昔（にち：意味は「太陽、太陽の光」）書（ひらび：意味は「言う」）  
2. 陸（こざとへん：元になる字は「おか」を意味する「阜（フ・おか）」）  
都（おおざと：元になる字は「むら、くに」を意味する「邑（ユウ・むら）」）

## 210 ページ

### ①馬

### ②（動画でも言いましたが補足説明として載せておきますね）

本・・・「木」の下部に「一」を加えて、「ねもと」を表している。→「もと」

末・・・「木」の上部に「一」を加えて、「こずえ」を表している。→「すえ」

③1. 明・・・「日」＋「月」      2. 休・・・「人」＋「木」

3. 炎・・・「火」＋「火」      4. 加・・・「力」＋「口」

5. 看・・・「手」＋「目」      6. 囚・・・「口」＋「人」

④1. 弦 → 意味：ゆみへん + 音：玄（げん）

2. 溶 → 意味：さんずいへん + 音：容（よう）

3. 功 → 意味：ちから + 音：工（こう）

4. 摩 → 意味：て + 音：麻（ま）

⑤1. せいかく／せいめい／ぎせい

2. ふごう／ふぞく／ふりつ

3. そぜい／そし／そげき

4. かいしゃく／せんたく／しょうやく

同じ「音」を表す要素だったとしても、1～3のように読みが同じ場合と、4のように異なる場合があるので注意が必要です。ちなみに4には「駅（えき）」や「光沢（こうたく）」といったものもありますね。色々さがして、“関連付けて覚える”というのが大切です。



### ちよこっと知識 ～漢字の成り立ち～

象形文字・指事文字・会意文字・形声文字の四つは、“漢字がどうやってできたか”を説明するもの。転注・仮借は上の四つの方法で出来上がった漢字をほかに応用してできたもの。

だから象形・指事・会意・形声は「文字」とつづくのに、転注・仮借はつかないし、まず覚えなないといけないのは象形文字・指事文字・会意文字・形声文字であるわけです。

みなさん、問題の出来はいかがでしたか？これらの問題は問題自体が大切なのではなく、これらの知識を身に付けることで漢字の原理を学び、よりよく語彙力を蓄えられる（漢字を覚えたり、漢字を活用したりする）ようになることがとっても大切です。漢字の得意・不得意はこの知識を活用できるか否かに直結していると言っても過言ではないでしょう。途中、未習漢字もあったとは思いますが、自分で調べ、学習したことはみなさんの大きな力になるはずですよ。この調子で語彙力を育ててくださいね。（「桐の種帳」も忘れずに！）それではまた。川崎友花